

熊本教育評論の会創立50周年事業
「月刊『教育評論』データベース化」及び学習支援無料塾開設
助成金支援事業成果・会計報告書

一般財団法人 熊本放送文化振興財団 様

標記の件について、次の通りご報告いたします。

令和元年5月18日

申請団体名 熊本教育評論の会
代表者名 会長 中村 貞夫 印



1 事業成果

事業名：熊本教育評論の会創立50周年事業
「月刊『教育評論』のデータベース化」及び学習支援無料塾開設

(1) 事業の内容

創刊以来の「教育評論」データベース化及び学習支援無料塾開設

(2) 事業のねらい

①月刊『教育評論』のデータベース化

「教育評論草創期」の教育事情及び「教育評論」誕生の経緯を知らせる。

熊本の教育事情及び「教育評論」の歴史を伝える。

熊本教育界の問題・課題を分野(テーマ)ごと、時系列に整理する。

望ましい教育の在り方追求のための示唆を与える。

退職教師の教育貢献への認識を深めること、整理することに供する

②学習支援無料塾開設

ユニセフの貧困率調査によると、我が国の子どもの貧困率は先進国35カ国の中で下から9番目のワースト上位にあり、熊本市の子どもの貧困率も国とほぼ同じである。この現実を踏まえ、経済的な理由により、塾などの希望する学習の機会に恵まれない中学生を支援することにより、生徒の学習意欲を高め、学力向上に資するための学習支援無料塾を開設・運営する。

(3) 事業の概要

熊本教育評論の会 企画委員会

①月刊『教育評論』のデータベース化

作業工程

(i) 画像化

1号(昭和42年5月20日発行)～596号(平成31年2月1日発行)
2016(平成28)年7月31日 スキャン開始、現在に至る。

(ii) 画像の文字化

1号(昭和42年5月20日発行)～596号(平成31年2月1日発行)
2018(平成30)年3月文字化開始、
現在(3/1)377号まで文字化

(iii) 文字化CDのコピー複製

平成31年4月以降随時会員に配布

*事業成果物(添付資料)

CD『『教育評論』の画像化、文字化』の一例

②学習支援無料塾開設

事業開催場所：熊本市立楠中学校

無料塾教科：数学

// 開催：2018年10月～2019年3月
10/1～3日「1,2年生対象 定期考査事前学習」
11/8～9日「」
2/18～19日「」

// 講師：退職校長5名

// 会議：・塾講師と中学校教科担任との研修会議
・「」と中学校側との評価会議

*事業の成果

定期テストの結果(中学校側より報告)

9割近くの生徒が前回のテストより点数が上がる。
学力等のレベルの低い生徒にとっては、特に、成果があった。
前回より向上していて生徒達も喜んでいて。

評価(講師の評価)

テスト準備の勉強だから点数をとるための指導になった。
従って数学の学力を高めるための指導になっていない。
年間を通して継続的な指導をしなければ本来の数学力は
身につかない。

2 会計

(収入)

熊本教育評論の会事業費より	50,000円
熊本放送文化振興財団よりの助成金	100,000円

(支出)

費目	金額	内訳
①月刊『教育評論』のデータベース化 製作費(1)		
作業代	36,000円	2,000円×18日
製作費(2)		
作業機材購入費用	38,610円	OCRソフト 9,860円 スキャナー 28,750円
消耗品	25,390円	USBメモリー 9,730円 1,390円×7本 カートリッジ 9,860円 2,465円×4セット データCD 5,800円
小計	100,000円	

②学習支援無料塾開設

指導者謝金	36,000円	講師36回×各回1,000円
会議費	5,000円	会議資料作成
事務通信費	4,000円	塾使用教材費等
小計	45,000円	

支出合計 145,000円

「教育評論」データベース化及び学習支援無料塾開設に要した費用145,000円のうち、熊本放送文化振興財団よりの助成金10万円を使用させていただきました。